KIFA Report

河内長野市国際交流協会

Vol. 121
Oct. 2022

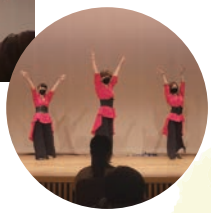
8 月 27 日開催の「世界とつながろう！」にて

● ウクライナに平和を　チャリティーイベント
● 夏休み子ども絵画教室 2022
● 英語村でクッキング!
● 世界とつながろう!
● 多文化の部屋　～ウクライナ編～
● 日本語サロンスタッフ研修公開講座
～「できる日本語」の使い方～
● 国際料理教室　～タイ編～
● インフォメーション

〒586-0025　大阪府河内長野市昭栄町 7-1 キックス 3F　http://www.kifa-web.jp　Tel 0721-54-0002　office@kifa-web.jp

ウクライナに平和を　チャリティーイベント

2022 年 9 月 3 日　キックス　イベントホール



なかなか終わりの見えてこない、ロシアのウクライナ侵攻。日本にも避難されて来ている人々がいます。そのうち神戸に避難中のウクライナのみなさん数人と、橋本在住の福井ユリアさんをゲストにお迎えしました。
河内長野市長、島田智明氏と河内長野市議会議長、桂 聖氏のご挨拶の後、ウクライナ支援・復興サポートチームの代表の方と共にウクライナのみなさんが、ステージにあがりました。大きなウクライナ国旗を掲げながら、ウクライナの現状や国に残してきている家族への思い、戦争が終わって一日も早くウクライナに帰国したいとの熱い気持ちを語りました。

その後は、河内長野で活躍するグループの皆さんを中心に、ジャズを中心にした音楽のセッション「EBIKOJI」、「お笑いコミュニケーションズ」の皆さんによるお笑いステージ、天野山公民館を中心に活動するアマチュアバンド「あまのうた」、ラブリーホールで活動するゴスペルの「Make Us One」、プロのダンサーも多く排出している河内長野のダンスグループ「ダンスパワーズ」、共に興味深い音楽人生を歩んでこられた「粋坊主」と「せきこーぢ」のセッション、と続き、最後は今回のイベントを企画したアコースティックバンドの「化楽」が、ステージを盛り上げました。ウクライナの皆さんも、手拍子をしたり腕を振ったりとこのイベント楽しんでいるのが印象的でした。

厳しい状況にあるときこそ、音楽や笑いが人々には必要と言われます。言葉は通じなくても、わたしたちの心はウクライナの皆さんに伝わったことでしょう。「わたしたちは微力だけれと無力ではない」という、出演者のおひとりの言葉が身にしみます。また、ステージ上に常に流れていた 2010 年の大阪・イン・ザ・ワールドでのウクライナ音楽舞踊団の映像が今日との対比となっていました。また、あの頃のような平和な日々が一日も早く訪れますように。

会場では募金を募っていましたが、イベント終了後には、協賛金から経費を差し引き、地域で展開された募金も含めた総額は、244,000 円余りとなりました。ありがとうございました。

ART でつながろう！姉妹都市の KIDS たち
夏休み子ども絵画教室 2022
「アメリカで朝顔の花をさかせよう！」

2022 年 8 月 2 日（火）
キックス　創作工房

毎年の恒例となっている夏休み子ども絵画教室。今年のテーマは「アメリカで朝顔の花をさかせよう！」です。リピーターが多い上に申込者が増えて、キャンセル待ちが大勢出る大盛況の中、ラッキーな 25 名の参加者が真夏のカーメルに元気な花を咲かせようと創作工房に集まってきました。

先ずは子どもたちに今日は何のために絵を描くのか、その絵がどこに行くのかを知ってもらわないといけません。姉妹都市のカーメルがアメリカのどこにあるのか。カーメルにはどんな施設があるのか。姉妹都市になったのはいつからなのか。子どもたちはクイズ形式によるおもしろさに惹きこまれながらカーメルのことを学びました。

さて、姉妹都市への興味を深めたところで、船本先生御夫妻の登場です。屏風に描かれた朝顔や実物の写真を見ながら、朝顔の色、形、向き、ツルや葉っぱの様子など熱心に観察しながら説明を聞きました。

昨年は水彩絵の具をべっとり使った作品で、油絵のタッチを思わせる重厚感のある作品だったところ、今回の画材のメインは打って変わって何と墨汁です。しかも、画用紙や画仙紙、半紙などではなく障子紙に描くということで、これは子どもたちにとってきっと初体験で、新鮮な気持ちで取り組み始められたのではないでしょうか。

キャンバスとなる障子紙にも裏表があって、滑かな方に細筆を使って墨で朝顔の花、葉っぱ、つるなどを描きます。どんな絵画でもそうですが、描く人によって個性が出るもの。手の速いスラスラ型、墨をたっぷり使ったドッシリ型、筆先だけで描き続ける人、水墨画のようなかすれを出している人、どれをとっても同じ画風の人がいません。さらに、見た目にこれで構図ができたかなと思っても、先生から次々と指示が出るので、輪郭だけを描くだけで 1 時間半以上頑張りました。

墨で描く線画の朝顔ができあがったら、今度は作品の裏から水彩絵の具で着色します。淡い色は表の墨とのコントラストでステンドグラス風に。また濃い絵具の色は染み出る加減で濃淡が出て表から見ると立体感のある鮮やかな花の色に。それぞれくっきりした墨の輪郭で引き締まった朝顔が咲き誇りました。

できあがったみなさんの素晴らしい作品は、カーメルから届いている作品とともに姉妹都市子ども絵画展（8 月 27 日～ 9 月 3 日 KICCS エントランスホール）で展示されたほか、カーメル市で 9 月 23 ～ 25 日に行われたカーメル国際アートフェスティバルの河内長野ブースで紹介され、世界で一番小さな子ども美術館（ギネス認定）にも展示される予定です。

英語村でクッキング
Enjoy Cooking!

2022 年 8 月 21 日（日）
キックス　食工房

河内長野市英語村構想事業「えいご村フェスタ 2022 in Kawachinagano」の一環として、ＫＩＦＡが担当したクッキング。夏休み後半を迎えた小学３～６年生の子どもたちが、ネイティブの先生と英語で楽しく交流しながら、ベルギーワッフル作りに挑戦しました。この日のレシピは、講師の前本ベネディクトさん（ベルギー出身）がお母さんから伝えられたもの。卵と溶かしバターがたっぷり入った、素朴な家庭の味です。

まず、エプロン姿の子どもたちは、英語で手順の説明を受けました。「エッグ」「シュガー」「ミックス」と単語を復唱しながら、ネイティブの発音になれていきます。バニラエッセンスを７滴入れる場面では、全員で「ワン、ツー、スリー」とカウントが始まりました。

普段から英語に親しんでいる様子の子どもがいる一方で、最初は、ネイティブの発音に戸惑う姿も見られました。でも、小学生の適応力は大したもの。ネイティブの先生が、ジェスチャーまじりに陽気に盛り上げてくれるので、徐々に打ち解けていきました。

実際の調理は、小学生３人・外国人１人の４人グループで行いました。レシピ通りに材料を加えながら、交代で「ミックス、ミックス!」。まぜ始めると、ワッフル生地はだんだん重くなっていきます。子どもたちが疲れた後は、先生ががんばって「アイム　マッスルね」と笑わせてくれました。

クライマックスは、ワッフルメイカーのふたを開ける瞬間です。生地を大胆に投入して２～３分。会場の外にまで広がる甘い匂いに、心躍らせながらふたを開けると、おなじみのブロック模様に仕上がったベルギーワッフルの出来上がりです。「おいしそう～」「売ってるヤツみた～い」と陽気な歓声があがりました。

この日の英語レシピは、写真と日本語訳つきのものがプレゼントされました。裏面には、クッキング中に使った英単語が記されており、復習もできるように配慮。参加した子どもたちは、「家でお母さんと作ってみようかな」とにっこり笑って帰路に着きました。

★
前本　ベネディクトさん（ベルギー）
グラハム・マクロードさん（カナダ）
江村　ヤングさん（スイス）
柴　リリアさん（アルゼンチン）

世界とつながろう！

8月27日（土）
キックス　大会議室

小さい時から、外国の人、外国の情報に接して視野を広げてもらおうという目的で毎年行っている「世界とつながろう」のイベントが、今年も夏休み最後の土曜日に開催されました。小学生の皆さんを対象に、６ヶ国の外国の方を講師に迎え、小旅行気分で、色々な国を訪問して色々なことを学んでもらおうというイベントです。

各ブースには、講師の方々が準備してくださった、その国の写真や、民族衣装、楽器などが展示されています。参加された外国の方々は次のとおりです。

金 鳳貴さん（韓国）、 リエ・シュレスタさん、モヒニ・シュレスタさん（ネパール）、ポルタレス・カルロスさん（チリ）、ラリタ・アヌバワストゥティさん（インドネシア）、福井ユリアさん（ウクライナ）、グラハム・マクラウドさん（カナダ）。

今回の参加者は飛び入りの年中さん１名を加え、総勢14名です。6 つのグループに分かれ、学生ボランティアの、中野 悠さん、天川 陽暉さん、泰中 加代子さん、皆田 百良さん、服部 楓さん、リュトウヨさんたちをリーダーに各国のブースを訪問していきます。

出発前に、まず KIFA 特製のパスポート作りです。子ども達は、ちょっと緊張の面持ちで写真を撮影して、パスポートに張り付けて出発準備完了!

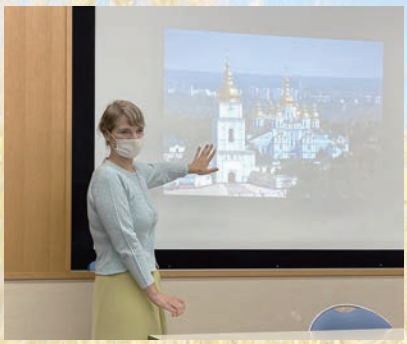
流れる空港のアナウンスをバックに出発です。外国の人らしく、ちょっとテンション高めの講師もいて、最初は少し押され気味の子ども達もいましたが、すぐに馴染んで楽しく会話がはずみます。なにせ、短い滞在時間ですので、話を聞いて、インドネシアのアンクルンという竹の楽器を演奏してみたり、民族衣装を着せてもらって記念撮影と皆さん大忙し。ママさんカメラマンの飛び入りもあり、次の国への移動のアナウンスがあると、滞在記念のシールをパスポートに貼ってもらい、大慌てで次の国に向かい駆け足で、6 か国の訪問を終えました。

最後に全員で、パスポートを握りしめて記念撮影。残り少ない夏休みを楽しく過ごしました。

多文化の部屋 ～ウクライナ編～

9月17日　　キックス　中会議室
ゲスト：福井ユリアさん

2010 年に大阪・イン・ザ・ワールドでウクライナ民族音楽舞踊団が訪日しました。今日は、そのときに、ウクライナ料理教室を河内長野で教えてくださった橋本在住の福井ユリアさんがゲストです。17 年間日本に住まわれて、流暢な日本語を話されます。時々関西弁も混じって、ロシアの侵攻について当初ウクライナの人たちは「（ロシアは）そんな馬鹿なことはせんやろな。わからんけど。」と考えていたそうです。



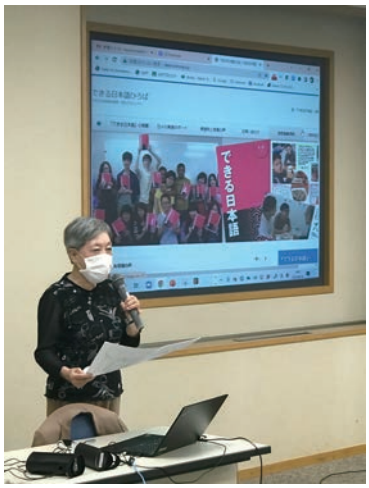
今、ウクライナの各地で戦争が繰り広げられる中、祖国の紹介を写真を使ってしてくださいました。教会などの建物や自然の美しい情景を紹介しながら、ユリアさんの祖国への深く熱い愛情が伝わってきます。

ボルシチや水餃子に似たヴァレーヌィクなど料理の紹介もありました。ウクライナ料理は、素材の自然な味、果物や野菜のうまみを楽しむとか、日本の料理にも通じるものがありそうです。

今年の春からキックスのエントランスには、ウクライナへの献花台やメッセージボードが置かれたり、最近になってからは折り紙の鶴で支援の思いを伝えようということで、折り紙コーナーが設けられていました。ウクライナへの暖かいメッセージが書かれた鶴も多く、当日は、集まった鶴をユリアさんに託しました。私達の思いがウクライナの皆さんに伝わりますように。

「できる日本語」の使い方

2022年6月18日(土)
キックス　大会議室
講師：嶋田　和子氏



日本語ボランティアとして活動中の方、関心を持たれている方を対象に日本語サロンスタッフ研修公開講座が行われました。

講師は、日本語学校の副校長を務められ、現在は、一般社団法人アクラス日本語教育研究所の代表理事を務めておられる嶋田和子先生です。

先生は、長年外国の方々にいろんな教材を使って日本語を教えてこられました。日本語を勉強しようという外国人のレベルは、まちまちです。ある人にとっては、よくわかる内容でも、他の人にとってはチンプンカンプンであったり、ただ単に、日本語の復唱でしかないこともあります。その中で、受講生の外国人のみなさんの話を直接聞くことにより、本当に必要なのは、「自分のこと / 自分の考えを伝える力＝対話力」を養うことであるということに行きつきました。そして、「できる日本語」シリーズを監修され、日本語学校での学内研修や、教師育成講座に注力されています。今回は、「できる日本語」の教材の一部を見ながら、勉強しました。最初の教材の印象は、イラストが多いなということでした。私たち日本人と外国の方々とでは、それまで生活してきた環境や、バックグラウンドが全く違います。日本人が当たり前と思っていることが、外国人にとってはそうでないことがいっぱいあります。語彙を教えることに夢中になってしまうと、生徒さんが、ダンマリになってしまい、せっかくの勉強が一方通行になってしまいます。ところが、イラストを介しての会話を行うと、生徒さんも自分の今までの生活をイメージすることができ、たくさんの答えが返ってきます。この答えというのは、教科書の答えではなく、生徒さん自身の応えです。このことにより、自分のことや、自分の考えを伝える力が生まれ、伝え合う・語り合う日本語能力を身に付けることができます。

短い時間ではありましたが、目から鱗の思いをすることがたくさんありました。

日本語ボランティアとして活動中の方で、生徒さんの反応が今一つと感じておられる方がおられましたら、一度「できる日本語」に目を通してみられては、いかがでしょうか？

後日談になりますが、今回受講された日本語ボランティア活動に関心を持たれている方から、日本語サロンに、前向きなお問い合わせがあったことをお伝えしておきます。

●日本語サロン　スケジュール

月＼曜日		日曜 Sun.	火曜 Tue.	木曜 Thu.
10月	Oct	2・16・23・30	4・11・18・25	6・13・20・27
11月	Nov	6・13・20・27	8・15・22・29	10・17・24
12月	Dec	4・11・18	6・13・20	1・8・15

＜開講場所と時間＞
日曜日 Sundays　14:00～16:00
　千代田公民館　2階
火曜日 Tuesdays　10:00～11:45
　市民交流センター（KICCS）3階
木曜日 Thursdays　18:00～20:00
　ノバティ南館3階　ノバティホール

●語学クラブ　スケジュール

○英語フリートーキング　予定講師
10月　アダッシュ・シャーマ（インド）
11月　フィリップ・ネルソン（アメリカ）
12月　ケビン・リレー（スイス）

コース		英語 フリー トーキング	英語 （中級）	英語 （初級）	中国語 （中級）	中国語 （入門）
時間		14:00~15:30	19:00~20:30	19:00~20:30	19:00~20:30	10:00~11:30
開講日	10月	8	11・25	4・18	7・21	5・19
	11月	12	8・22・29	1・15	4・18	2・16
	12月	10	13	6・20	2・16	7・21

■世界の文化ごった煮2022

WORLD CULTURAL POTLUCK

2022/11/20 sun

グローバルな時代こそ、ローカルな国際交流を！！
市民交流センターが丸ごと世界の文化ごった煮に‼

スタンプラリーも

◎ステージワールド / Performances　12:00 ~ 15:30

・国際交流協会設立 30 周年記念式

・和太鼓	長野高校和太鼓部
・ダンス	ダンスパワーズ
・中国獅子舞	成美高校中国文化春暁倶楽部
・インド舞踏	カルラ アジアンダンス スタジオ
・ゴスペル	Make Us One
・フラダンスと ウクレレ演奏	Halau O Lilinoe 吉田教室 アヌエヌエ　ハワイアン
・ペルーの音楽	フローレスデュオ

◎ブース出展：

KIFAフリマ、世界の文化ごった煮マーケット（様々な国の文化や食べ物の販売・展示、ローカルバザール（地域の団体による物品販売など）

◎展示：

ワールドカップ　世界のユニフォーム
世界の絵本
ハートグローバルの部屋
知ろう！わが町河内長野の歴史 !!
日本語サロン紹介・語学クラブ紹介

◎ワークショップもあります。

募集！！

出店希望、運営ボランティア等、世界の文化ごった煮を通じて KIFA に関わってくださる方を募集します！！！
連絡は事務局まで（出店の登録締め切りは 11 月 5 日 (土) まで）

■デンマーク訪日団　ホストファミリー募集！

大阪 YMCA を通して来日するデンマークの高校生と交流しませんか。

訪日団：Denmark Eisbjerghus International School
デンマークアイスビャーグスインターナショナルスクール
日本滞在期間：2023 年 1 月 17 ～ 27 日
KIFA 受入れ日程：2023 年 1 月 20 ～ 23 日（3 泊）
人数：高校生約 20 名あまりの内 6 ～ 7 名
問合せ：河内長野市国際交流協会　0721-54-0002

※上記は現在の予定です。

■問い合わせ・申込み■
河内長野市国際交流協会（KIFA）
事務局
〒586-0025 河内長野市昭栄町7-1
市民交流センター（キックス）3 階
TEL: (0721)54-0002
FAX: (0721)54-0004
Eメール: office@kifa-web.jp

コース		スペイン語 (初級)	韓国語 (中級)	韓国語 (初級)	韓国語 (入門)	タイ語 (初級)
時間		19:00~20:30	13:00~14:30	10:40~12:10	15:00~16:30	19:00~20:30
開講日	10月	7・21	12・26	12・26	12・26	7・21
	11月	4・18	9・30	9・30	9・30	4・18
	12月	2・16	14・21	14・21	14・21	2・16

タイ語はサークルとして活動中です。詳細は事務局まで。

タイのグリーンカレーを作りましょう！

2022年6月25日（土）
キックス　食工房

＜グリーンカレー材料＞　（4人分）

鶏肉 ……1枚
なす ……2本
赤パプリカ ……1/2個
青唐辛子 ……1本
ココナツミルク ……400ml
グリーンカレーペースト …50g
ナンプラー ……大さじ1
砂糖 ……大さじ1

グリーンカレー

ヤムウンセン

ヤムカイトム

タイのグリーンカレーを鮮やかなグリーンのエプロン姿の西本ポーンマナスさんに教えていただきました。

メニューは「グリーンカレー」の他に「ヤムウンセン」と「ヤムカイトム」という2種類のサラダです。カレーの材料のグリーンペーストは、一から作るととても手間がかかるので、今回はスーパーなどでも手に入る市販のものを使いました。ペーストには普通のカレールーと同様に様々なスパイスが入っていますが、ココナツミルクを加えて調理するので、お味はマイルドな仕上がりでした。小学生くらいのお子さんが、家族と一緒に参加していましたが、グリーンカレーは完食でした。

編集後記

ロシアによるウクライナ侵攻から7か月以上が経ち、大阪府では9月の時点で114人のウクライナ避難民の方々を受け入れているそうです。河内長野で行われたウクライナチャリティーイベントには、神戸から避難民の方々がお見えになり、舞台の演者から投げかけられる熱いメッセージや応援の歌に手を上げて応えられたり、時には涙を浮かべられる姿などがありました。世界の平和の為に何かできることはないかという想いが形となり実現した、今回のチャリティーイベント。改めて、人を動かす原動力は誰かを思いやる心なのだな、とひしひしと感じました。多文化の部屋ウクライナ編では、明るくチャーミングな笑顔で現状を語ってくださったウクライナ人女性でしたが、「世界中が応援をしていますよ。」とお伝えすると、その目に光るものがありました。きっとウクライナ人も、明るくて強く優しい方が多いのでしょう。ウクライナだけではなく、助けを必要とされている国は他にも沢山あります。出来ることをここKIFAから発信していきたいと心新たに致しました。某日本人アーティストがジョン・レノンの「Imagine（イマジン）」を和訳でカバーした曲が、チャリティーイベントでも歌われました。その中に、“夢かもしれない　でも　その夢を見ているのは　きみ一人じゃない　仲間がいるのさ“という歌詞があります。平和を願う心を一つにすることは、私も不可能ではないと思います。長い時間を要してでも、人と人とが国境を越え、今ある偏見を捨て、お互いの中にある愛と思いやりの心で繋がり合っていけるような未来を、わたしも思い描いて参りたいです。

Gyohji

無料
メールマガジン
配信中！
KIFAの楽しいイベントや情報をいち早くお知らせします。
お申し込みは、事務局または、KIFAホームページから
http://www.kifa-web.jp/